

事業コード	01050280	政策コード	01	政策名	産業経済基盤の再構築
事業名	「海フェスタ」開催支援事業	施策コード	05	施策名	人・モノの交流促進によるビジネスの拡大
		指標コード	02	施策目標(指標)名	国内外からの観光・ビジネス客の誘客推進
部局名	建設部	課室名	港湾空港課	班名	調整・空港班
				(tel)	2542
				担当課長名	土谷 諄一
				担当者名	伊藤 邦昭
事業年度 平成25年度 ~ 平成25年度					

評価対象事業(計画)の内容

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
 平成24年5月、「海フェスタ」が男鹿市を中心とした地域で、開催されることが決定した。
 同年8月に「海フェスタ実行委員会」が立ち上げられ、名称は「海フェスタおが〜海の祭典2013 in 秋田〜」、実施期間は平成25年7月13日(土)〜7月28日(日)の16日間で開催されることが決定した。
 また、11月上旬に同実行委員会より県に対し、負担金の支援を要請されたことを受け、県としても国(海事団体)や関係市町村と同様に負担金を支援することとした。

2. 住民ニーズの状況
 ①ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: 年 月)
 ②ニーズの把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に)
 ③ニーズの具体的内容

③把握してない場合の理由及び今後の方針
 ①理由 「海フェスタ」は、平成23年度から男鹿市が中心となり、行政主導で国土交通省へ要請していた事業であるため。
 ②今後の方針 「海フェスタ」の事業内容を充実させることにより、住民の海への関心を高め、港湾の利用促進や秋田船川港を活用した地域の振興・発展を図る。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)
 平成25年7月に男鹿市を中心とした地域で開催される「海フェスタおが」を支援するとともに、開催イベントを実施することにより、県民、国民に対し海への関心を高め、港湾の利用促進や秋田船川港を活用した地域の振興・発展を図る。
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

4. 目的達成のための方法
 ①事業の実施主体 男鹿市、秋田市、潟上市、三種町、大潟村
 ②事業の対象者・団体 「海フェスタおが」への来場者、県民、国民
 ③達成のための手段 「海フェスタ実行委員会」に対し、負担金を支援する。

④比較した代替手段及び選択した手段の有効性
 実行委員会に参画し、負担金を交付することは、「海フェスタおが」の事業内容をより充実させ、無事に成功させるために最も有効な手段である。

5. 事業の全体計画及び財源		単位(千円)							
順位	事業内訳	左の説明	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	全体(最終)計画
01	「海フェスタ」開催支援事業	「海フェスタ実行委員会」に対し、負担金を支援する。なお、この負担金は、開会式・記念式典等の共通経費分に充当する。	30,000						
財源内訳		左の説明	30,000						
国庫補助金									
県債									
その他									
一般財源			30,000						

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み									
事業の期待される成果		海フェスタ実施期間における過去の来場者数は、岩手県で約73万人、長崎県で約77万人であり、秋田県でも相当程度の来場者が見込まれるため、経済波及効果が期待される。							
指標Ⅰ	指標名							指標の種類	
	指標式							<input type="radio"/> 成果指標 <input type="radio"/> 業績指標	
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	実績b	②データ等の出典							
東北									
全国									
③把握する時期 <input type="radio"/> 当該年度中 月 <input type="radio"/> 翌年度 月 <input type="radio"/> 翌々年度 月									
指標Ⅱ	指標名							指標の種類	
	指標式							<input type="radio"/> 成果指標 <input type="radio"/> 業績指標	
	①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	実績b	②データ等の出典							
東北									
全国									
③把握する時期 <input type="radio"/> 当該年度中 月 <input type="radio"/> 翌年度 月 <input type="radio"/> 翌々年度 月									
◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法									
①指標を設定することが出来ない理由									
過去の「海フェスタ」開催県の事例から来場者を予測することは、規模等の違いにより困難なほか、実施主体は男鹿市を中心とした5市町村であるため、指標設定は困難である。									
②見込まれる効果及び具体的な把握方法（データの出典含む）									
各種イベント等の実施により、周辺地域の経済波及効果が見込まれる。イベントの実施後、経済波及効果を実施主体の中心である男鹿市が算出し、県に実績報告する。									
事業の必要性									
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性									
「海フェスタ」は、毎年、全国の港湾都市において開催されるイベントであり、「海の日」本来の記念式典や地域の歴史や特性を生かしたイベントを実施することにより、地域の魅力を全国へ情報発信するためにも必要である。 なお、記念式典や祝賀会には皇室からご臨席もある。									
住民ニーズに照らした事業の必要性									
特になし									
事業の県関与の必要性									
<input type="checkbox"/> 法令・条例上の義務 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施できないもの									
<input checked="" type="checkbox"/> 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの									
「海フェスタ」実施主体が市町村であり、事業内容を充実させるためにも県の関与は必要である。（岩手県：22,600千円、長崎県：10,000千円、広島県：30,000千円をそれぞれ負担している。）									
						政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定	
								<input type="radio"/> 重点事業 <input type="radio"/> その他	